



「第23回化学工学会学生発表会」で科学部が「優秀賞」を受賞しました

3月6日(土)に「第23回化学工学会学生発表会」がオンラインで開催されました。これは、公益社団法人化学工学会が主催となって、高校生、高専生及び大学生が、研究成果の発表と討論を行う大会です。

本校からは、サクラのアレロパシー物質について研究活動に取り組んでいる科学部が参加しました。「サクラの葉による発芽抑制 2 ～クマリンの秘密に迫る～」の研究について口頭発表を行い、「優秀賞」を受賞しました。

また、科学部は、3月19日(金)開催のジュニア農芸化学会 2021「高校生による研究発表会」に参加しました。オンラインで、大学教員や研究者等に自分たちの研究成果を発表しました。これらの経験を今後の研究活動に活かしてほしいと思います。



高大連携プログラム「科学へのとびら」で発表しました

佐賀大学主催の高大連携プログラム「科学へのとびら」で、オンラインによる課題研究発表が3月17日(水)からWeb上で公開されました。本校からは、科目「SSH研究Ⅱ」の授業で1年間研究活動に取り組んできた班が、「シチメンソウによる植生密度と成長の関係」を発表しました。

科目「SSH研究Ⅰ」の単元「先輩の研究に学ぶ」で「1・2年生合同授業」を実施しました

3月18日(木)に、科目「SSH研究Ⅰ」の単元「先輩の研究に学ぶ」で、「1・2年生合同授業」を実施しました。理数科2年生が、理数科1年生に対して、研究活動に取り組む上でのアドバイスや失敗談を語りました。1年生は、研究テーマや研究計画等を考える際に参考にしてほしいと思います。



2年生の感想

- 「自分達は実際に実験をしているから分かるけど、それを1年生にも分かりやすく伝えるのは難しかった。」
- 「ノートなどにもっとまとめておくべきだったと感じた。」
- 「1年間自分達がした研究を振り返るととても良い機会になったと思う。」

1年生の感想

- 「自分がする時のイメージが具体的に想像できたと思う。新しく興味が湧いたテーマもあって面白かったです。」
- 「失敗談や注意すべきポイントなど、課題研究発表会では聞けないことを聞いてよかった。」
- 「実体験が元になっている具体的な例を聞いて、すごくためになった。質問にも丁寧に答えてもらったので、来年度の課題研究が楽しみになった。」
- 「研究の準備段階について考えることが大事だと分かった。引き継ぎをした方が充実した研究になると思った。」